

Kasuga

[市報 かすが] 令和4年12月15日号

KASUGA CITY 50TH ANNIVERSARY
春50TH
令和4年4月1日 春日市制50周年

大牟田池

まぐさ
春日株組合から市へ寄附
(関連記事2~3ページ)

- P02 大牟田池を市民の貴重な財産として
将来にわたり継承
- P04 市制50周年記念式典
- P06 市からのお知らせ
- P09 トピックス
- P10 情報ひろば



大牟田池を

市民の貴重な財産として 将来にわたり継承

市内に残る19のため池の中でも2番目に大きな大牟田池。かつては農業用水としての活用だけでなく、市民の憩いの場としても利用されていました。

近年、全国各地で発生している集中豪雨による災害への備えや自然環境の保全などの観点から、市は大牟田池の今後のあり方について所有者である春日秣組合と協議を重ねてきました。その結果、市民の貴重な財産として、水と緑の豊かな自然環境を将来に継承していくために大牟田池を市に寄附していただくこととなりました。

春日市のため池

市の自然環境を特徴付けているため池は、約100年前には84カ所あったと記録されています。

福岡平野には、那珂川と御笠川という2つの大きな川が博多湾に向かって流れており、これらの川に挟まれた小高い土地である春日市域には大きな川から水田へ水を引くことができませんでした。そこで、先人たちは農業に使う水を得るために小高い丘の谷間をせき止めて、大小多数のため池をつくりました。現在は宅地造成などによりその数は減りましたが、ため池は市のシンボルとして存在し続いています。

組合長 あいさつ



春日秣組合長 しろすず いわお 巖さん

春日市は緑豊かな公園やため池、川などの自然との調和がとれた住宅都市です。大牟田池を管理する当組合では、市民の安全を第一に考えて適切な管理に努めてまいりました。しかし、近年は集中豪雨などで全国的に想定を超える被害も後を絶たず、一組合としての管理だけで十分な対策がとれているのか、市と協議を重ねてまいりました。その結果、大牟田池を当組合から市へ寄附し、今後は市に災害などに備えた管理を行ってもらうこととなりました。

春日市は今年で市制50周年を迎えましたが、まだ春日町だった昭和30年代の大牟田池は、農業用水として活用されるとともに、市民の憩いの場でもありました。釣りや水遊びをするなど、子ども大人も生活の中に大牟田池がありました。私にはその頃の記憶が鮮明に残っています。当時を知る人にとっても、思い出の詰まった場所なのではないでしょうか。

その後、大牟田池の周辺は宅地開発が進み、現在は安全のために立ち入りができませんが、水と緑の豊かな自然環境を保っています。

池の役割や周辺の様子は時代とともに変化していきますが、大牟田池が現状のまま後世へ引き継がれていくことを願っております。今後は市の財産となり、このまちの貴重な資源として大牟田池を活用していただければと思います。

贈呈式

11月7日、市役所で目録の贈呈と覚書の交換が行われました。



▲左から井上市長、白水組組合長、池田副組合長

市に点在するため池の中でも生物多様性に優れたため池であり、アカマツ、イヌクロゴウイなどの植物や、カイツブリ、ヒ

市街地に残る水と緑の豊かな自然環境であるため池の適正な保全を総合的に推進して住民の健康で文化的な生活を確保し、公共の福祉に寄与するため、市は昭和60年に全国的にも珍しい「春日市溜池保全条例」を制定して、ため池とその周辺の環境を守ってきました。

しかし近年、気候変動による豪雨災害などで、全国的にため池の決壊などによる被害が多発したことを受け、国が、民有地のため池の適切な保全や管理、

問い合わせ先 都市計画課公園担当
☎(584)1111(代)
F(584)1143

大牟田池の紹介



寄附に至るまでの経緯

防災工事の推進に関する法律を定めるなど、ため池を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような状況の中、市は令和3年度に策定した「第2次春日市緑の基本計画」などで、「ため池のストック適正化」の方針を定め、水資源の利用、雨水調整、都市景観などの観点から将来にわたって保全していくため池を明確にし、必要な防災工事も有効活用促進に取り組みすることにしました。

大牟田池は、堤体付近に一部漏水が確認され、地震などの災害時における危険性が懸念されることから、今後のあり方について、ため池所有者の春日株組合と意見交換を続けてきたところ、このたび市に対して大牟田池を寄附する旨の申し出があり、今後は市が管理を行っていくこととなりました。

市長謝辞



春日市長 井上 澄和

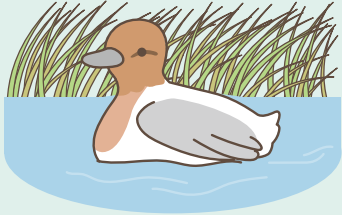
春日市は、先人から受け継いだため池が点在し、都市の貴重な水と緑の空間が市民の心に潤いを与えています。

このたび、春日株組合の皆さまが先祖から引き継がれ、長年にわたって大切に管理されてきた地元の貴重な財産である大牟田池を、市に寄附していただきました。

市制50周年の節目に、市民の貴重な財産として将来にわたり継承して欲しいとの思いでいただいた今回の寄附は、まさに春日市の歴史に残る大変革と言えるものであり、重大なご決断をいただいたところでございます。心から敬意を表しますとともに、市民を代表して、春日株組合の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

このことよって、かねてから心配しておりました災害時の堤体の決壊を防ぐための防災工事の早期着手も可能となります。

今後は、市街地に残る水と緑の豊かな自然環境である大牟田池を、市民が誇れる市の財産として、将来にわたり継承していくため、市が責任をもって保全し、管理してまいります。



▲ヒドリガモ